

R・2・10・5

出る月を待つべし

散る桜を追うことなかれし。

中根東里、一六九四―一七六五の

言葉です。

卓絶した文章力を備えていた
のにもかかわらず、学問で禄を
食むことをせず、生涯合貸しい
暮らしを通じた人でした。

自分が合貸しいのに、困っている人が
いると大切な書物を買って、その
金立を与えて助けました。
合貸しさはどこまでも彼を追っ
かけてきた一生でした。

穀田屋十三郎

東北の合貸しい寒村の窮状を
打破するため、自分の全財産
拠出し、有志七人で千両もの
金を集めて、仙台藩に貸し付け
利自心を毎年300両受取つて
その金で村人を救ったという
人です。このことは子息から子孫に

至るまで伝えるなと遺言して
亡くなっています。

このようなくが日本には江戸時代、
明治、大正、昭和の初期までは
大勢いました。

今の日本には探しても見当うなく
なりました。

ソフトバンクが2兆円もの利益を
出したが、法人税は五、六百万円
とのこと。どうなっているのかから
くりを知りたいものです。

トヨタも巨額の利益を計上
して、ながら、びっくりする程
少ない法人税です。

国税上りの専門家を抱えて
あらゆる方法を駆使して、納
税額を減らしているのです。

日本は企業業の売上高や利益を
公表するだけでなく、納税額も
公表する制度にするといいますが、
幸栄画は本購代が経ヒになりません
ので利益算入になります。

鍵山秀三郎様